

令和5年度 入札監視委員会審議概要

中国四国防衛局

開催日及び場所	令和5年9月27日(水) 広島合同庁舎4号館5階中国四国防衛局会議室
委員	田邊 尚 (委員長/弁護士) 谷村 吉弘 (委員長代理/客員研究員) 上河内 正和 (不動産鑑定士) 上寺 哲也 (高専准教授) 川本 泰清 (税理士)

I 建設工事等に関する審議

審議対象期間	中国四国防衛局 令和5年3月1日～令和5年6月30日 陸上自衛隊 令和4年4月1日～令和5年3月31日		
審議対象件数	中国四国防衛局 15件 陸上自衛隊 19件		
1. 入札状況について (参加資格の設定、指名及び落札決定の経緯等について)			
抽出件数	中国四国防衛局 3件 陸上自衛隊 3件	(審議概要) 「抽出案件」 ・建設工事 ・建設コンサルタント業務等	
建設工事	一般競争 (政府調達協定対象)	0件	「報告事項」 ・低入札事案について ・不調事案について ・指名停止等の措置状況について
	一般競争 (政府調達協定対象外)	中国四国防衛局 1件 陸上自衛隊 3件	
	公募型指名競争	0件	
	指名競争	0件	
	随意契約	0件	
建設コンサルタント業務等	中国四国防衛局 2件		
	意見・質問	回答	
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等	○建設工事 【一般競争入札 (政府調達協定対象外)】 《防府北外(4) 航空灯火改修等電気工事》 ・1者入札で、かつ99.74%と高落札率となった理由について説明して下さい。	仕様書をダウンロードしたが、入札に参加しなかった業者に確認したところ、他に業務を複数受注しており、技術者が確保できないため参加を見送ったこと、また、航空灯火設備の改修工事は、特殊な工事のため参加しなかったとの回答であった。 本工事は、入札不調となったことから見積活用方式の内容を変更した後、再公告したものであり、その結果として高落札率になったものと考えている。	

	意見・質問	回答
<p>○委員からの 意見・質問</p> <p>○それに対する 回答等</p>	<p>○建設コンサルタント業務</p> <p>【一般競争入札】</p> <p>《小月（４補）設備工事監理業務》</p> <p>・他の業務が複数者による競争入札となっているなかで、１者入札で、かつ97.97%と比較的高い落札率となった理由について説明して下さい。</p> <p>《松山（５）土質調査》</p> <p>・参加者が16者と多くなっていますが、それは業務の内容によるものですか。 それは、落札率に影響があったと思われませんか。</p>	<p>１者応札の理由について、業務の仕様書をダウンロードしたが、入札に参加しなかった業者に確認したところ、いずれも技術者が確保できなかったとの回答であった。</p> <p>監理業務の積算は、防衛省HPでも公表されている積算価格算定要領を使用することにより、入札参加者も発注者と同様の積算が可能であるため高落札率となったものと考えている。</p> <p>入札参加者が多くなった要因の一つは、本業務は20mボーリング2本と比較的規模が小さな業務であったためと考えている。また、ボーリングの本数が多い事案には、距離の離れた複数の地区に跨る業務が多いが、本業務は松山駐屯地の1地区であり、その点も参加しやすい事案であったと考えている。</p> <p>入札参加者は入札時に何者応募しているかを知ることはできないため、参加者が多かったことが落札率に影響しているかどうかは判断できない。</p>

	意見・質問	回答
<p>○委員からの 意見・質問</p> <p>○それに対する 回答等</p>	<p>陸上自衛隊 ○建設工事 【一般競争入札】</p> <p>《弾薬庫警衛所内部改修工事》 ・一般競争契約において初度入札時に3者の応札があったが、再度入札時に1者辞退した理由を教えてください。</p> <p>《松山（4）北梅本宿舎ガス給湯器取替》 ・2者入札で、62.41%と比較的低い落札率となった理由について説明して下さい。</p> <p>《善通寺（4）230号建物汚水配管改修工事》 ・5者の入札参加者がありながら3者の辞退が相次いだ理由を説明して下さい。</p>	<p>初回の入札時の最低応札価格と辞退者の応札価格は2倍以上の差があり、企業側の判断により再度入札を辞退したと思われる。</p> <p>本件は、公表資料を用いた積算価格と市場調査価格を用いて予定価格としたものである。 落札業者が入札時に提出した工事費明細内訳書と予定価格調書の内訳を比較した結果、ガス給湯器等の材料費が調査時より大幅に安価になっており、その乖離が比較的低い落札率になったものと思料する。</p> <p>辞退した業者に確認したところ、2者については、再度積算を実施したが初度入札時の最低価格を下回る応札が不可能と判断したため辞退したとの回答であった。残り1者については、初度入札時の金額以下の応札が不可能であったため再度入札を辞退したとの回答であった。</p>

2. 談合疑義案件の処理状況について			
談合疑義件数		0 件	(審議概要)
工事	談合情報	0 件	
	点検結果疑義	0 件	
業務	談合情報	0 件	
	点検結果疑義	0 件	
		意見・質問	回 答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等		なし。	なし。
委員会による意見の具申又は勧告の内容		なし。	

3. 入札結果の事後的・分析結果について			
審議概要		なし	
		意見・質問	回 答
○委員からの意見・質問 ○それに対する回答等		なし。	なし。
委員会による意見の具申又は勧告の内容		なし。	

4. 再苦情処理（再説明請求回数）					
再苦情申立件数 （再説明請求件数）		総件数	0 件	（備考） なし。	
建設 工事	一般競争（政府調達協定対象外）		0 件		
	公募型指名競争		0 件		
	指名競争		0 件		
	随意契約		0 件		
建設コンサルタント業務等			0 件		
再苦情申立概要 （再説明請求概要）		申立日	件名	契約方式	内容等
○委員からの 意見・質問 ○それに対する 回答等		意見・質問		回答	
		なし		なし	
○委員会による 意見の具申 又は 勧告の内容		なし			